

ベーツヒラタカミキリ
 県内では、琴平山の常緑広葉樹林でしか発見されていない。幼虫はカシ類、シイ類などの木質部を食べて育つ。

ヤブヤンマ
 成虫も幼虫(ヤゴ)も薄暗い環境を好むため、琴平山は本種にとって好生息地となっている。

ゾウスサンメクラチビゴミムシ
 琴平山と象頭山にしか分布していない甲虫の一種。湿った地中に生息する。

イボタガ
 幼虫は、山間部の谷筋に生えるモクセイ科の植物を食べる。成虫は、早春に出現する。

キイロミヤマカミキリ
 県内では、琴平山の常緑広葉樹林でしか発見されていない。幼虫はシイ類の木質部を食べる。

オオゴキブリ
 日本最大のゴキブリ。原生林や良好な二次林に生息し、朽木を食べる。

コンピラオオコバネナガハネカクシ
 琴平山でしか発見されていない甲虫の一種。湿った地中に生息する。

ジムグリ(幼蛇)
 主にヒメシなどの小型哺乳類を食べる。幼蛇は、鮮やかな赤色をしている。

アオダイショウ(幼蛇)
 木登りが得意で、樹上の鳥の卵やヒナなどを食べる。古い民家の屋根裏や縁の下でも見られる。

ニホンヒキガエル
 夜間に林床を這う昆虫やミミズなどを食べる。オタマジャクシが生息できる水環境が少ないため、個体数が少なく、見つけにくい。

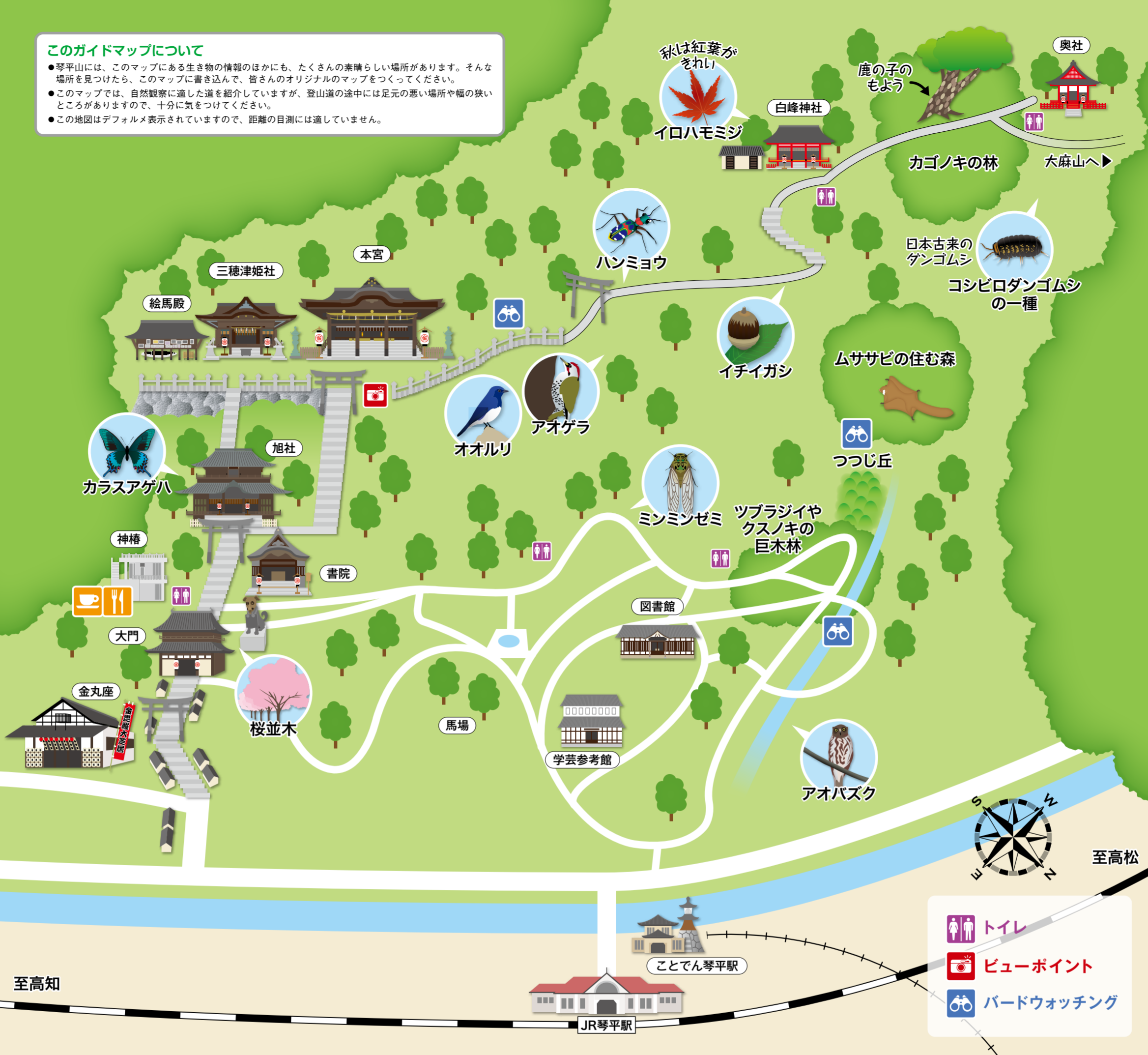
アスキガイ
 鎮守の森にしか生き残っていない。乾燥から身を守るアタを持つ。

セトウチマイマイ
 平地や里山では大型で殻の色がほとんどであるが、琴平山では小型で殻の型が生息している。

ツムガタギセル
 鎮守の森にしか生き残っていない。丘陵地性の種。繁殖減危種。

コシビロダンゴムシの一種
 日本古来のダンゴムシ。自然が豊かで多様な環境を好み、オカダンゴムシの半分ほどの大きさ。

アカネズミ
 夜行性で、植物の柔らかい根や種子、昆虫などを食べる。主に地上で生活する。



このガイドマップについて

- 琴平山には、このマップにある生き物の情報以外にも、たくさんの素晴らしい場所があります。そんな場所を見つけたら、このマップに書き込んで、皆さんのオリジナルのマップをつくってください。
- このマップでは、自然観察に適した道を紹介していますが、登山道の途中には足元の悪い場所や幅の狭いところがありますので、十分に気をつけてください。
- この地図はデフォルメ表示されていますので、距離の目測には適していません。

サシバ
 主にヘビ、トカゲ、カエル、セミ、バッタなどの小型の動物を食べる。

ルリビタキ
 雑食性で、用虫、節足動物、果実などを食べる。地表や樹上を移動しながら食べ物を探す。

ハイタカ
 鳥類や昆虫類などを襲って食べる。顔の多くは小型の鳥類で、ヤブの中まで追いかけて捕らえる。

アオバト
 果実や種子を食べる。「オーアオー」等と聞こえる独特の声で鳴く。

キウイタダキ
 樹上で眠る幼虫、昆虫、クモ類などを食べる。ほとんど樹上で生活し、「ツツツツツツツツ」と鳴く。

アオバト
 果実や種子を食べる。「オーアオー」等と聞こえる独特の声で鳴く。

アオゲラ
 主に木の幹や枝をつついて昆虫を食べるが、果実も食べる。「キョッキョ」と鳴く。

クロジ
 繁殖期には樹上で昆虫類やクモ類を食べ、それ以外の時期は地上で植物の種子などを食べる。

クスノキ
 琴平山では大木が点々と生えている。中でも社務所前のクスノキはご神木である。

琴平山の哺乳類

ニホンリス
 昼行性で、果実や種子、キノコ、昆虫、動物の骨などを食べる。琴平山では、山麓周辺でも時々目撃されるが、森の奥で出会うのは難しい。

ムササビ
 夜行性で、目覚後の約20〜30分間、樹洞から出て、木の葉や花、実、種子などを食べる。琴平山では、普通に鳴き声や姿を確認できる。

ムササビ
 夜行性で、目覚後の約20〜30分間、樹洞から出て、木の葉や花、実、種子などを食べる。琴平山では、普通に鳴き声や姿を確認できる。

キツネ
 主に小型の動物を食べるが、果実類も食べる。昼間でも薄暗い林道でじっと観察していると、運が良ければ出合えるかもしれない。

アオネカズラ
 シダ植物の一種で、根が非常に長い。樹幹に巻きついて、樹木を枯らす。琴平山の町木。

クロボイ
 琴平山を代表する樹種の一つ。4〜5月に、よじ登りつづいた小花を咲かせる。

オガタマノキ
 神事に用いるために金刀比羅宮境内でカサキとともに古くから植栽されている。琴平町の町木。

マメヅタ
 シダ植物の一種で、樹木や岩に葉をはわせる寄生植物。独特の丸い葉をつける。

琴平山の植物

イタビカズラ
 樹木や岩をよじ登る常緑のツル植物。イチジク属の植物で、切り口から乳液が出る。

カゴノキ
 乾燥に強いことから、雨の少ない瀬戸内の常緑広葉樹林を代表する樹種の一つとなっている。

アオネカズラ
 シダ植物の一種で、根が非常に長い。樹幹に巻きついて、樹木を枯らす。琴平山の町木。

クロボイ
 琴平山を代表する樹種の一つ。4〜5月に、よじ登りつづいた小花を咲かせる。

オガタマノキ
 神事に用いるために金刀比羅宮境内でカサキとともに古くから植栽されている。琴平町の町木。

マメヅタ
 シダ植物の一種で、樹木や岩に葉をはわせる寄生植物。独特の丸い葉をつける。

アオゲラ
 主に木の幹や枝をつついて昆虫を食べるが、果実も食べる。「キョッキョ」と鳴く。

クロボイ
 琴平山を代表する樹種の一つ。4〜5月に、よじ登りつづいた小花を咲かせる。

オガタマノキ
 神事に用いるために金刀比羅宮境内でカサキとともに古くから植栽されている。琴平町の町木。

マメヅタ
 シダ植物の一種で、樹木や岩に葉をはわせる寄生植物。独特の丸い葉をつける。